



えがおがいっぱい！ 6月

子どもごごろ

ある幼稚園のエピソードです。



入園式の朝、靴箱の前でぐずっている女の子の姿がありました。女の子は、「新しい上履きが硬くて嫌だ、履きたくない」と言っています。保護者の方は困り果て、「履いているうちに軟らかくなるから履いてみなさい。」と促したそうです。

すると、その姿に気付いた園長先生が、「軟らかくなれ、軟らかくなれ」ともんで見せたそうです。「魔法をかけたからね。今度は大丈夫」と言うと、女の子はそっと足を入れて、「本当だ」と保育室にスタスタと入っていきました。

「上履きが硬くて履きたくない」という本当の理由は、幼稚園への期待・不安の表れかもしれないし、知らない子どもがいる保育室に入ることへの抵抗かもしれません。

子どもは自分の心のモヤモヤに気付けないこともあるから、何かにかこつけて表そうとするのです。

その子の身になって考えれば分かりそうなことですが、親としては、子どもがきちんとできることに心を奪われ、その子の思いは見えなくなってしまうものです。

ちょっと踏みとどまって「子どもごごろ」をのぞいてみると、子どもも自分の気持ちをうまく言い表せないもどかしさを感じているのだと分かります。



このエピソードを聞いたとき、私たち教師も、この「子どもごごろ」にきちんと寄り添った保育をしているだろうか、と考えさせられました。

早いもので、1学期も残すところ約20日。4月から子どもたち一人一人の成長を振り返り、「子どもごごろ」に寄り添いながら、1学期の締めくくりをしていきたいと思ひます。



幼稚園型認定こども園 和光幼稚園
令和3年6月25日(金)
主幹 三月田 智子

たくさんほめましょう！！

子どもの考えや行為、あいさつなどの生活態度、遊び、友達関係などから、子ども一人一人の良さを見つけ出し、その場ですぐほめることが、幼児教育の目標の一つである「心情・意欲・態度」を育みます。子どもはほめられて自信がつき、よろこんでいろんな遊びに取り組むようになります。そして、何かをやりとげ、その達成感に満足して報告に来た時、一緒に喜んで、励ましになるような言葉をかけます。すると、いっそう興味や関心が高まることでしょう。



今週の水曜日はお店屋さんごっこでした。「いらっしやいませ〜。」のにぎやかな声に、お店への勧誘や商品のアピールなど、本物顔負けのお店屋さんでした。

持ち帰ってきた商品の一つ一つは、子どもたちが、買った人が喜んでくれるだろうと心をこめて作ったものばかりです。

「たくさんお買い物できえ良かったね。」「素敵な品物ね。」とぜひ子どもたちをほめていただき、ご家庭でも『お店屋さんごっこ』を開いてみてくださいね！！

マスクをしていても、美しく！！素敵な色の口紅ありますよ！

